

2025 年 12 月 3 日

「私たちの見たこと、聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたも私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父および御子イエス・キリストとの交わりです。私たちがこれらのことを書き送るのは、私たちの喜びが全きものとなるためです。」

-1 ヨハネ 1:3-

① パウロのもとからコロサイに行く人 (v.7-9)

○テキコ：使徒 20:4

パウロ 3 回目の伝道旅行、エペソでの 3 年の滞在とそこでの暴動によって、船出した時に同行していた 7 人の一人
cf エペソ 6:21,2 テモテ 4:12, テトス 3:12 にも登場

○オネシモ：ピレモン 12

- ・ピレモンのところからの脱走奴隷。パウロのローマ獄中滞在の時に救われる (ピレモン 10)
- ・かつては役に立たないものでしたが、今は役に立つものに替えられた。(ピレモン 11)
- ・このときに、コロサイにいるピレモンのもとに帰る(ピレモン 12)

② パウロとともにいて、コロサイの教会に「よろしく」と挨拶を送る多様な 6 人(v10-14)

<3 人のユダヤ人>

○アリスタルコ：使徒 20:4, ローマ 16:7

パウロ 3 回目の伝道旅行、エペソでの 3 年の滞在とそこでの暴動によって、船出した時に同行していた 7 人の一人

○マルコ

- ・若いころは 1 回目の伝道旅行から逃げ出したため、「使い物にならん。」とパウロに言われる(使徒 13:13, 15:38)
- ・12 年の後パウロとともにローマの監獄にいる。パウロに「同労者」「役に立つもの」と呼ばれる
(ピレモン 24/2 テモテ 4:11)
- ・福音書の執筆者

○ユストと呼ばれるイエス

<3 人の異邦人>

○エパfras：コロサイ教会の教師。獄中のパウロに教会の現状問題を知らせ、この手紙を書かせる動機となった人 (コロサイ 1:7)

○医者ルカ：福音書、使徒の働きの執筆者

○デマス：のちにクリスチアンをやめる (2 テモテ 4:10)

○手紙の受け取り手(v15-17)

○コロサイの教会の人たち

○ラオで木屋の教会の人たち

○ヌンパとその家にある教会の人たち

○アルキボ (ピレモン 2)